

## 組織マネジメント

(株)プレスタイム九州 代表取締役 米澤 金作

厳しさを増す社会経済や労働環境の中で、管理・監督者もしくはそれに相応する人の責務は一層その重さを増している。まさに管理・監督者の良し悪しはその組織や企業の命運を決定するといっても過言ではない。優れた管理・監督者に共通していることは管理(マネジメント)に対する基本がしっかりと身につけていることである。近年の日本能率協会の調査によると、当面の経営課題に「人材強化」が最重要課題に挙げられており、その中でも「新入社員研修」について「中級管理者研修」が第二位に挙げられている。また、日本産業訓練協会の産業訓練実態調査のうち「人事管理の重点課題」の第一位に挙げられたのが「次世代リーダーの選抜育成」、第三位が「管理職の意識改革」というものであった。特にバブル崩壊以降、官民を問わずマネジメント能力の高い管理・監督者が求められており、この傾向は今後ますます顕著になっていくものと思われる。更にこの流れは地方公共団体における当面取り組むべき人事課題とも合致するものと思料される。新たに管理・監督者の仲間入りをしたという人の場合、部下への役割分担を通して「目標の設定、目標の明示と伝達、進捗の把握、指導、援助、達成、評価など」をする立場に立つことになり、管理・監督者はマネジメントサイクルを回しながら仕事を具体的に進めていくための処々の考え方や手法を確実に身に付けていくことが求められる。管理・監督者は“自ら燃える人は、自然と人をも燃やす力がある。自ら自己を磨きながら部下や周囲を燃やしていく”という強い思いをもって進んでいく必要がある。

本研修では、(1)管理・監督者の役割と要件 (2)マネジメント能力強化 (3)部下育成 (4)集団の力の引き出し方 (5)人間関係能力強化のための自己変革法 (6)部下のモチベーションアップなどの項目についての学びを深めて頂き、日常業務に活かして頂きたい。多くの管理・監督者の方のご参加をお願いしたい。